

第64回学校給食研究協議大会 分科会発表者・指導助言者一覧表 【平成25年11月1日(金) 10:00～15:00 三重県総合文化センター】

分科会		研究主題	研究協議事項	所属名	指導助言者
1	学校・家庭・地域の連携	学校給食を活用した家庭への食育の普及方策	学校給食を活用して家庭に食育を普及するためには、どのようにしたらよいか。 ①学校給食を通じた学校から家庭への食育の普及啓発の図り方。 ②試食会や親子料理教室など、家庭との連携の進め方。 ③地域の関係機関と連携した家庭への食育の普及啓発の図り方。	三重県鈴鹿市立玉垣小学校 栄養教諭 向出 克江 高知県馬路村立馬路小学校 栄養教諭 内海まゆみ 佐賀県佐賀市立神野小学校 栄養教諭 山口 伊津子	女子栄養短期大学 教授 金田 雅代 愛媛県教育委員会事務局 保健体育課 指導主事 石山 香
		学校給食における地場産物等の活用方策	学校給食において、地場産物の活用及び米飯給食を推進するためには、どのようにしたらよいか。 ①学校と地域の生産者等が連携した地場産物納入体制の整備の図り方。 ②栄養教諭等が中核となって行う地場産物の効果的な活用の進め方。 ③地場産物の活用および米飯給食の推進の図り方。 ④児童生徒と生産者等との交流の図り方。	三重県亀山市立関小学校 栄養教諭 青 靖子 三重県亀山市教育委員会事務局 学校教育室 主査 小林 真理子 秋田県八峰町立峰浜中学校 栄養教諭 佐藤 紀美子 宮城県日南市立油津小学校 栄養教諭 河野 通子	21世紀構想研究所 理事長 馬場 錬成 高知県教育委員会事務局 スポーツ健康教育課 指導主事 北村 和子
3	食に関する指導	小学校	生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うための学校における食育の推進はどのようにしたらよいか。 ①学校における食育を推進するための校内体制の在り方。 ②学校給食を中心とした食に関する指導の進め方。 ③栄養教諭等が中核となって行う学校における食に関する指導の効果的な進め方。	三重県伊勢市立有緝小学校 栄養教諭 中村 敦子 大阪府和泉市立池上小学校 栄養教諭 角谷 富美子 山形県酒田市立若浜小学校 栄養教諭 杉原 順	京都府教育委員会事務局 体育健康教育室 指導主事 尾松 廣明 新潟医療福祉大学 教授 森泉 哲也
		中学校	生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うための学校における食育の推進はどのようにしたらよいか。 ①学校における食育を推進するための校内体制の在り方。 ②学校給食を中心とした食に関する指導の進め方。 ③栄養教諭等が中核となって行う学校における食に関する指導の効果的な進め方。	三重県尾鷲市立輪内中学校 校長 濱田 一孝 岐阜県郡上市立郡南中学校 栄養教諭 白瀧 芳美 愛知県日進市立日進中学校 教諭 佐藤 敦彦	文部科学省 食育調査官 濱田 有希 宗像市立玄海東小学校 校長 脇田 哲郎
5	児童生徒への個別的な対応指導	食物アレルギーや肥満、瘦身及びスポーツを行う児童生徒への個別的な対応指導はどのようにしたらよいか。 ①食物アレルギーのある児童生徒に対応した学校給食を進める上での保護者との連携の進め方。 ②食物アレルギーの症状の程度に応じた特別食、代替食などを実施する上での、校内体制の在り方。 ③食物アレルギーに対応した学校給食を提供するための施設設備の改善の進め方。 ④児童生徒やその保護者に対する個別指導の効果的な進め方。	三重県津市立西郊中学校 (三重県津市中央学校給食センター) 栄養教諭 横山 真理 宮城県仙台市立愛子小学校 主査 竹内 宏子 千葉県千葉市立椎名小学校 総括主任栄養士 山中 裕子	東京女子医科大学 名誉教授 (こどもの城小児保健クリニック院長) 村田 光範 長崎県教育庁 義務教育課 指導主事 江口 佳也乃	
6	おいしく魅力のある学校給食のための献立作成や調理技術の向上	児童生徒の実態に基づく栄養管理や調理技術の向上を図り、栄養バランスのより美味しい給食を提供するためにはどうしたらよいか。 ①おいしく魅力ある学校給食にするための献立作成および調理技術の向上方策。 ②学校給食調理従事者が児童生徒の食育に果たす役割の啓発の在り方。 ③おいしく魅力ある学校給食にするための工夫の在り方。 ④児童生徒の体格や活動レベルおよび地域の実情に配慮した栄養管理の在り方。	山形県大江町立左沢小学校 栄養教諭 小関真理子 沖縄県南城市立佐敷中学校 栄養教諭 根川 文枝 神奈川県横浜市立東市ヶ尾小学校 学校栄養職員 河村 真紀	文部科学省 学校給食調査官 江口 陽子 香川県教育委員会事務局 保健体育課 指導主事 西森 千鶴	
7	特別支援学校の学校給食の在り方	児童生徒の障害に応じた学校給食を提供するためには、どのようにしたらよいか。 ①特別支援学校の児童生徒の実態に応じた学校給食を進める上での校内体制の在り方。 ②児童生徒の心身の状況に応じた、栄養管理及び学校給食を活用した食育の進め方。 ③栄養教諭等が中核となって行う学校における食育の進め方。	三重県立特別支援学校北勢きらら学園 主任学校栄養職員 山中 玲子 神奈川県立武山養護学校 栄養教諭 服部 和美 島根県立浜田ろう学校 栄養教諭 酒井 美恵子	昭和大学 名誉教授 (ムカイ口腔機能研究所) 向井 美恵 兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 指導主事 中井 富美子	
8	衛生管理の在り方、安全かつ安心な食材の選定方法	学校給食の施設・設備を改善し、衛生管理を徹底するためには、どのようにしたらよいか。 ①ウェットシステムの調理場におけるドライ運用の進め方。 ②作業工程表、作業動線図等関係諸帳簿の作成の在り方。 ③学校給食施設設備の改善の進め方。 ④学校給食調理従事者等に対する衛生管理のための研修の在り方。 ⑤児童生徒に対する衛生指導の在り方。	三重県四日市市立桜小学校 栄養教諭 来田 聡美 岡山県瀬戸内市立国府小学校 (瀬戸内市立長船学校給食調理場) 栄養教諭 小坂 幸子 福岡県田川市教育部教務総務課 (田川市立伊田小学校) 学校給食担当係長(調理職員) 重岡 幸子	東京医科大学 兼任教授 中村 明子 愛知医科大学 客員教授 西尾 治	
		学校給食に、安全かつ安心な食材を安定的に供給するためには、どのようにしたらよいか。 ①トレーサビリティの導入など安全かつ安心な食材を安定的に供給するための体制整備の図り方。 ②外部委託品製造業者に対する衛生管理に関する指導の進め方。 ③地場産物を活用した商品開発の進め方。 ④学校給食関係者に対する食品表示に関する知識の普及の在り方。			